

第6学年 小学校社会科学習指導案

- 1 単元名 日本の歴史 「新しい日本、平和な日本へ」
- 2 小单元について
- 3 小单元の目標
- 4 小单元の評価規準
- 5 小单元の指導と評価の計画

(省略)

6 本時の学習計画 (本時 6 / 7)

(1) 目標

- ・現在の日本が抱える課題や果たすべき役割について調べ、考えたことを話し合うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】

<ヤングケアラーの扱いについて>

本小单元では、戦後復興を遂げた現在の日本のよさと課題の両面についてとらえ、これからどのような国を目指していったらよいかを考えることをねらいとしている。

現在の日本には災害、感染症、エネルギー問題、環境問題、人権問題と多岐にわたる課題がある。その中でも、家庭を取り巻く環境の変化は目まぐるしく、教科書の記述では見られないような問題も表面化しつつある。

そこで、本時の授業を行うにあたっては、現在の日本の課題の中でも、児童にとって身近な問題として考えられるヤングケアラーを題材に取り上げ、これからの我が国の在り方について主体的に考えられるようにする。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) <評価の観点> (評価方法)
導入 5分	1 前時までの振り返りを行う。	・日本の文化や技術が世界で認められ、社会の発展に貢献していることなど日本のよさについて振り返る。
	2 本時の課題を把握する。	・日本の家族に係る現状が分かる資料を提示し児童の発言をもとに課題を提示する。
	課題 日本はこれからどのような国を目指していけばよいか考えよう。	

<p>展開 33分</p>	<p>3 課題について予想を立てる。</p> <p>4 3つのグループをつくり、それぞれ別の資料から読み取る。</p> <p>5 グループを再編成し、自分たちのグループで分かったことを伝え合う。</p> <p>6 課題の答えについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一人一人に予想を立てる時間を確保する。 • 主体的な学び合いが行えるよう、ジグソー法の要素を取り入れる。 • 資料は「A ヤングケアラーという言葉の定義と実態（体験談）」「B 介護が必要な人の増加（グラフ）」「C 核家族化（グラフ、比較表）」の3種類を用意する。 • A、B、Cそれぞれの資料を読み取った人がいる3人組をつくる。 • 資料を見せるだけにならないよう、自分の言葉で伝えるように声をかける。 <p>◇日本の課題について知り、自分なりの視点から目指すべき日本の姿について考え、表現しようとしている。〈思考・判断・表現〉（机間指導、ワークシート）</p>		
<p>まとめ 7分</p>	<p>7 本時のまとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本日学習したことについて、考えを自分の言葉でまとめる。その際、「これからの日本の在り方で大切にすべきこと」を中心に考えるように発問を行い、個人の家庭環境に目が向かないように配慮する。 		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>戦後、我が国では国民の不断の努力によって国民の生活が向上するなど、復興を果たし世界に貢献できる国になりました。しかし、現在においても少子高齢化や核家族化などの様々な課題が残されています。これからは、それらの残された課題の解決に向けた国づくりが求められています。</p> </td> </tr> </table>			<p>まとめ</p>	<p>戦後、我が国では国民の不断の努力によって国民の生活が向上するなど、復興を果たし世界に貢献できる国になりました。しかし、現在においても少子高齢化や核家族化などの様々な課題が残されています。これからは、それらの残された課題の解決に向けた国づくりが求められています。</p>
<p>まとめ</p>	<p>戦後、我が国では国民の不断の努力によって国民の生活が向上するなど、復興を果たし世界に貢献できる国になりました。しかし、現在においても少子高齢化や核家族化などの様々な課題が残されています。これからは、それらの残された課題の解決に向けた国づくりが求められています。</p>			